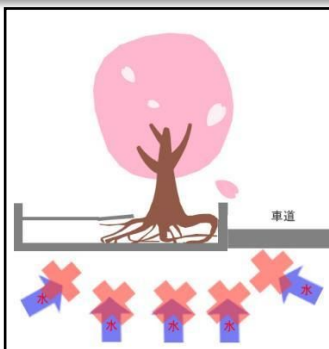


立会川緑道サクラ再生実行計画 第2回検討会ニュースレター

目黒区内の公園・緑道・道路緑地等には約 2,300 本の桜がありますが、老齢化などにより、保全・更新の取組みが必要となっていることから、目黒区では平成 27 年度から目黒のサクラ保全事業を行っています。今年度は、立会川緑道のサクラの再生実行計画を作成するため、平成 30 年 10 月 26 日（金）に原町住区センターで第2回検討会を開催しました。

桜並木の現状と課題

- ・ 樹勢が低下しており、何らかの措置が必要な桜は 27 本ある（35.1%）
（内 15 本は伐採済み）
- ・ 植栽基盤の不足
（土壌が少なく乾燥しやすい）
- ・ 桜の老齢化
- ・ 腐朽菌による材の腐朽・空洞の発生



立会川緑道は立会川にコンクリートの蓋をし、その上に盛土をして造られた人工地盤（ビルの屋上緑化と同じ地盤で、大きな植木鉢のような構造）です。このため、土壌が固まり易く、乾燥しやすい土壌となっています。また根の生育範囲も狭い状況といえます

今後の対応策と方向性検討

保全対策

土壌改良、施肥、剪定、水やり等の方法の検討

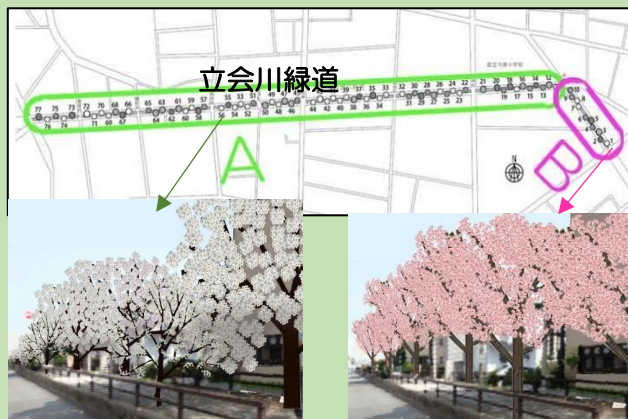
更新対策

- ・ 倒木の危険のある樹木の伐採
- ・ 植替え品種の検討
多様な品種による持続性のある桜並木へ再生
植栽間隔が狭いことや、土壌が浅い事を踏まえ、小型のサクラを選択すること、保水性対策などの工夫が必要。

提案した立会川緑道の将来像



多彩なサクラ風景で全体を統一
早咲き、樹高の低い品種などに植替え



ブロックにわけて風景に変化を加える
A：ソメイヨシノやソメイヨシノに近い品種
B：マイヒメ等で統一

第2回検討会の主な意見

- ・ 立会川緑道の桜並木はソメイヨシノのイメージが強いため、これからもソメイヨシノで統一したい
- ・ 魅力的な街にするため、特色のある桜の品種で植え替えても良いと思う
- ・ ソメイヨシノより小型で同じような雰囲気になるような早咲きのサクラで植え替えることも考えられる

第2回検討会でのご意見を踏まえて、桜景観の将来像とそれにふさわしい品種について検討し、第3回検討会でご紹介します。

○目黒のサクラ基金にご協力をお願いします
サクラ基金はふるさと目黒の桜のある風景を後世に伝えるための基金です。
公園等の桜の保護・植替えなどに活用しています。詳しくは目黒区ホームページをご覧ください
みどりと公園課までお問い合わせください
<http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/zaisei/kifu/kikin/sakurakikin.html>

